

議員定数等に関するアンケート結果 概要

1. 各議員の「議員定数」「議員報酬」「政務活動費」の回答

No.	1. 議員定数	2. 議員報酬	3. 政務活動費
1	現状維持	増やすべき	増やすべき
2	減らすべき	現状維持	増やすべき
3	現状維持	現状維持	増やすべき
4	減らすべき	増やすべき	減らすべき
5	現状維持	現状維持	増やすべき
6	現状維持	増やすべき	増やすべき
7	現状維持	増やすべき	増やすべき
8	現状維持	増やすべき	増やすべき
9	現状維持	現状維持	現状維持
10	現状維持	現状維持	現状維持
11	減らすべき	現状維持	増やすべき
12	減らすべき	現状維持	増やすべき
13	現状維持	増やすべき	増やすべき
14	減らすべき	現状維持	増やすべき
15	増やすべき	増やすべき	現状維持
16	増やすべき	増やすべき	現状維持

2. 各議員の「委員会のあり方について」の回答

No.	内 容
1	現状で適正と思われる。
2	現状の定数16名で継続するなら、議長および監査委員はオブザーバー参加として委員会に所属すべきと思わない。残りの14名で現常任委員会の構成を7人体制としてはどうか。加えて、自治法196条第1項但し書きにより監査委員を議会から選任しないこともできるため、議員選出監査委員についても検討していければと思う。その場合、議員定数も15人とすることも併せて検討できれば良い。
3	常任委員会は、決定機関なので、議員全員で各委員会に分かれる必要がある。（複数所属）
4	常任委員会は、一つにして、全員参加で。 新人議員も一年目からすべての事業に携われるメリットは、大きい。

No.	内 容
5	平成25年の江藤先生のご講演において、先生はご自身のご経験に即して、委員会の委員数は「7、8人は必要」と述べている。また、先生は、委員会への「複数所属」については、調査研究に費やす時間を考えると難しいと述べている。以上のことを勘案すると、現在の大田市議会の「2常任委員会」の体制において、「1人1常任委員会に所属」する体制が最も望ましいものとする。
7	現状の8名体制を維持することが適切であると考えます。 委員会の審議において最も重要なのは、特定の考えに偏らず、多角的な視点から議案を揉むことです。現在の規模は、様々な会派の議員が入り混じることによって新たな視点や刺激を得られ、実りのある活発な議論が展開できる適正な人数であると考えます。但し、今後、3委員会制を模索する、あるいは議員定数が削減されるような局面においては、「議員1名が2つの委員会を掛け持つ（複数所属）」という制度の導入も検討の余地があると考えます。
8	担当委員会では、無い方を見学できるようにしてほしい。3つに分けて複数所属も希望。
9・10	課題ごとに特別委員会設置を進めると常任委員会の役割が形骸化していく。 委員会数は議運、総務、社文にとどめ、常任委員会機能を強化すべき。 所属以外の委員会審議に出席する場合は、現行どおりオブザーバー参加で担保でき、発言の機会も与えられている現行規定の運用で足りる。
11	議員が、複数の分野の課題に関わることで、広い視点での審議が可能になる。
12	・ 13年前、議員定数検討委員会が、3常任委員会を2つにしました。 ただし、委員数は、最低でも7名は、確保したいと考えます。監視能力の維持のため ・ 複数所属については、賛成できません。監視能力が弱まると考えます。 1名1常任委員会で、集中審議が望ましいと考えます。
13	常任委員会の数および、担当部署の割り当ては維持すべきだと考える。一方で、常任委員会自体の役割をより充実させることは必要であり、審査や委員会代表質問等、実効性を高めるための運用が求められる。
14	今の2常任委員会のままでよい。 複数所属はメリットはある場合があるが、委員会運営上デメリットのほうが大きいと思う。 一つの常任委員会という意見はあるが、大田市の場合、一般会計、特別会計、企業会計合わせて300億円を超えている。一つの常任委員会で審議するには無理がある
15	次代の皆さんで話し合ってくれば良いと思う。
16	設置数を増やし、常任委員会は3委員会にする。

議員定数等に関するアンケート結果 概要

3. 回答の要約

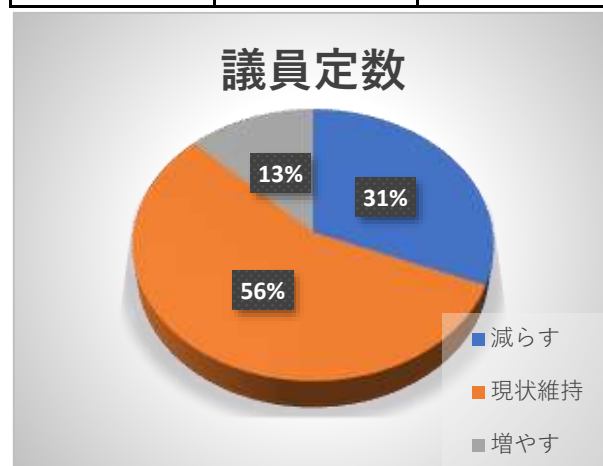
1. 議員定数

一番多かったのは「現状維持」。その主な理由は「人口規模が同等の自治体議会の定数の平均が16」「議員の業務量の増により定数は減らせない」など。

一方、「減らすべき」は5名。その主な理由は「人口減の中、減らすことも検討すべき」「なり手不足解消のため」「減らすべきとの市民の声」など。

また、「増やすべき」は2名。その理由は、「専門分野のエキスパート必要」「議会力の維持のため」など。

減らす	現状維持	増やす
5	9	2



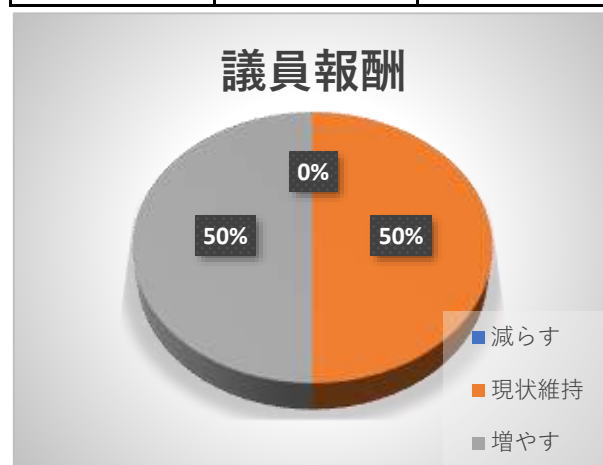
2. 議員報酬

「増やすべき」とした主な理由は「議員職に専念するには低すぎる」「現役世代が議員を志せない」「人口規模、財政規模が同等の自治体議員と比較し大町は少ない」「優秀な人材確保のため」。

一方、「現状維持」とした主な理由は「市民感覚は現状維持」「市の財政上、無理」「増やすなら、まずは市民の理解を得ることが先決」など。

「減らす」を選んだ人はゼロ。

減らす	現状維持	増やす
0	8	8



3. 政務活動費

一番多かったのが「増やすべき」。その主な理由は「調査研究のための自己負担多い」「人口規模が同等の自治体議会と比較し少ない」など。また、「増やすなら使途や効果を公表すべき」との付帯意見も。

一方、「現状維持」は4名。その主な理由は「報酬を増やせばいい」など。

また、減らすべきは1名。理由は「政務活動費はゼロにして歳費を増やすべき」。

減らす	現状維持	増やす
1	4	11

